

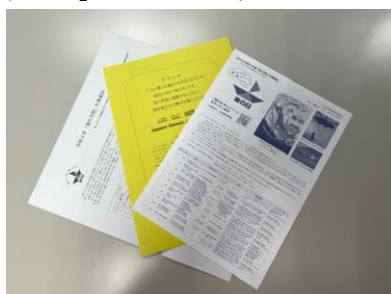
# 令和5年度補助事業の概要 (公益財団法人 日本海事広報協会)

## 1. 「海の日」・「海の月間」広報

### (1) 「海の日」・「海の月間」関連行事広報

9省庁39団体で構成される「海の月間推進委員会」で集約したイベント情報を周知するとともに、全国11地方海事広報協会の協力のもと、全国的に「海の日」「海の月間」行事や広報資料を実施。

中央では「海の日」クイズキャンペーンを展開。



## 2. 海事知識啓発

### (1) 船との出会い事業

乗船体験・海事産業関連施設の見学会

全国11地方海事広報協会の協力のもと、全国的に乗船体験や、造船所などの海事施設見学会、および海事産業に関する出前授業を実施。



### (2) ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞

全国の小中高生を対象に海運、船などに関わる調査・取材を行い、新聞形式にまとめた作品を募集し表彰。国土交通大臣賞を授与。



### (3) 海洋教育普及事業

#### ①海の仕事へのパスポート（小・中学生向け海洋キャリア教育）

「海に関わる仕事」を知り、海洋・海事産業に対する関心を高めることを目的に、同産業の現場で働く人を講師に迎え、小中学生を対象にセミナーを実施。



#### ②教育関係者への働きかけ

教育現場で海事分野が取り上げられるよう、教育関係者を対象に説明会や現場見学会を実施。



#### ③YouTuberによる海事教育動画の展開

令和3～4年度に教育系YouTuber葉一（はいち）氏を起用して制作した、海事産業に関する授業動画を引き続き公開。



#### ④社会科向けデジタル教材の制作

小学校社会科の海事産業の学習補完用のデジタル教材を制作。

令和5年度は「日本の輸入・輸出の特質とその輸送手段」をテーマに制作中。



⑤「海の学校」ウェブサイトの制作・公開

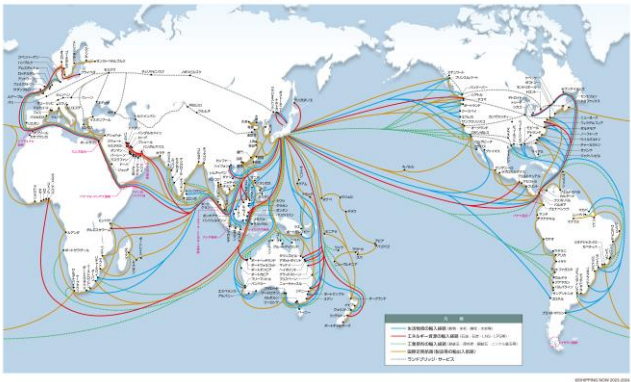
船員等になるための教育関係機関を紹介するウェブサイトを当会ホームページ内に制作し、各学校を紹介し(公財)海技教育財団が制作した「バーチャル学校見学サイト」を併せて掲載・公開。



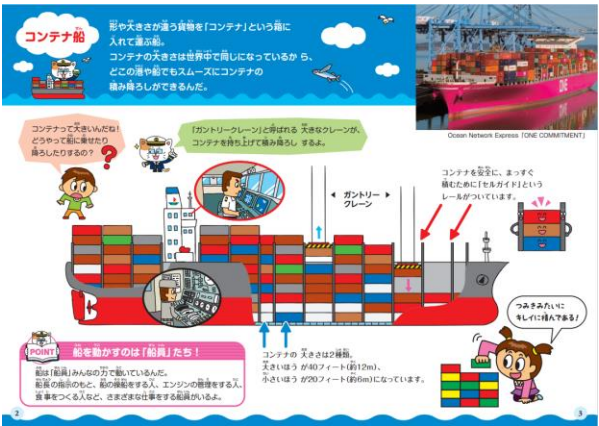
(4) 海事広報資料の制作・配布

広く一般の方々に、海事に対して興味や関心を持ち、理解を深めるために以下の広報資料を制作、配布。

①「SHIPPING NOW 日本の海運」



②「児童用海事産業パンフレット「ぼくとわたしのSHIPガイド」



③体験学習用パンフレット「船と港の役割」



④海事関係団体コンテンツガイド「海と船ガイドブック」

